



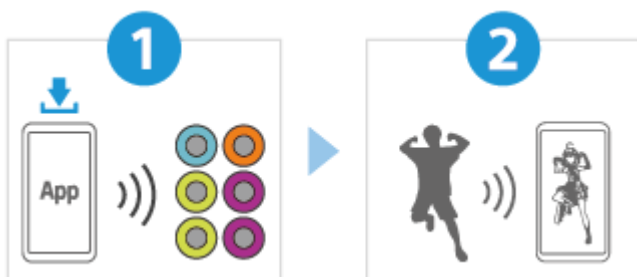
クイックスタートガイド

mocopiアプリをダウンロードしましょう



mocopiアプリはモバイルモーションキャプチャーを使用するための、スマートフォン用アプリです。お使いのスマートフォン用のアプリをダウンロードしてご利用ください。

使い始めよう



1 センサーをペアリングする



初めて使うときは、mocopiアプリでセンサーをペアリングして、モーションキャプチャーの準備をしてください。
その後、画面の指示に従い、センサーの接続、センサーの取り付け、体への装着、キャリブレーションを行います。

2

モーションキャプチャーする (モーションキャプチャー画面の各部の名称)



センサーを体に装着して動くと、mocopiアプリでアバターを動かしたり、モーションデータに変換したりして、記録できます。

関連情報

[充電する](#)

[センサーを接続する](#)

[ビデオモードで記録する](#)

[モーションモードで記録する](#)

準備する

[このヘルプガイドについて](#)

[各部の名前](#)

[充電する](#)

[mocopiアプリをインストールする](#)

[センサーをペアリングする](#)

モーションキャプチャーする

[センサーを接続する](#)

センサーの取り付け・取り外し

[センサーを取り付ける](#)

[センサーを取り外す](#)

[センサーを体に装着する](#)

[キャリブレーションする](#)

[モーションキャプチャー画面の各部の名称](#)

ビデオモード

[ビデオモードで記録する](#)

[アバターを変更する](#)

[外部機器からカスタムアバターを取り込む](#)

[背景を変更する](#)

モーションモード

[モーションモードで記録する](#)

[外部機器の設定をする](#)

[モーションデータを外部機器に送信する](#)

モーションをリセットする

[ポーズリセット](#)

[再キャリブレーション](#)

お知らせ

[使用上のご注意](#)

[使い終わったら](#)

[お手入れ](#)

[センサーや充電ケースが水に濡れたり汚れたりした場合は](#)

[商標について](#)

[第三者が提供するサービス・アプリ](#)

[サポートホームページで調べる](#)

[保証書とアフターサービス](#)

モバイルモーションキャプチャー

QM-SS1

このヘルプガイドについて

本書はモバイルモーションキャプチャー QM-SS1のヘルプガイドです。

ご注意

- 本機と接続する機器のシステムやアプリのアップデートを行うと、このヘルプガイドで説明されている操作と実際の操作が異なる場合があります。

使用上のご注意

付属の「リファレンスガイド」を必ずお読みください。

本機の概要

本機のセンサーを体に装着して動くと、スマートフォンのmocopiアプリを使って、アバターを動かしてMP4で記録したり、モーションデータをBVHファイルで記録したりすることができます。

本機に対応のスマートフォンについては、下記サポートページの「主な仕様」をご覧ください。

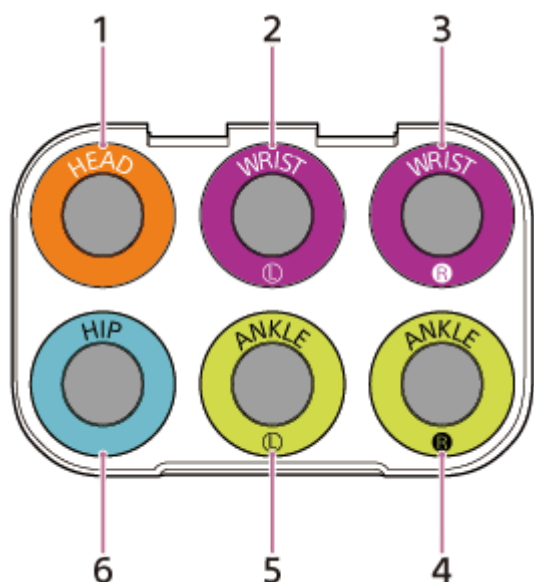
<https://www.sony.jp/mocopi/#spec>

TP1000940118

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

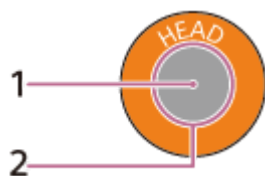
各部の名前

センサー



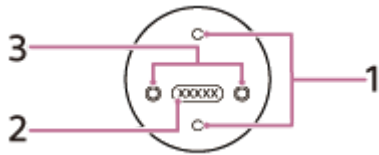
1. HEAD (ヘッド) センサー
頭に装着します。
2. WRIST/L (リスト/左) センサー
左手首に装着します。
3. WRIST/R (リスト/右) センサー
右手首に装着します。
4. ANKLE/R (アングル/右) センサー
右足首に装着します。
5. ANKLE/L (アングル/左) センサー
左足首に装着します。
6. HIP (ヒップ) センサー
腰に装着します。

センサー表面 (共通)



1. ボタン
2. ランプ (青/オレンジ/緑)
電源をオンにするとランプが青色で点滅します。電池残量が約15%以下になると、ランプがオレンジ色に点滅します。
電源をオフにするには、ボタンを長押しして、ランプが緑色で点灯したら指を離します。さらにボタンを長押し (5秒) すると、再び緑色に点灯し、強制再起動します。
充電中はランプがオレンジ色にゆっくりと点滅します。電池残量が約80%以上まで充電されると、緑色に点灯します。
センサーがmocopiアプリでBluetooth®接続しているときは、ランプが緑色に点滅します。

センサー裏面（共通）



1. 取付部の凹部
アタッチメントや充電ケースの突起部に合わせてセンサーを取り付けます。
2. シリアルナンバー
各センサーの番号です。
3. 充電端子
充電ケースの充電ピンに合わせてセンサーをセットします。

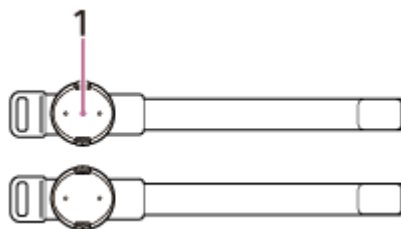
ヘッドバンド（頭用）



1. アタッチメント
2. バンドアジャスター
ヘッドバンドの長さや締め付け感を調節します。

リストバンド（手首用／2本）

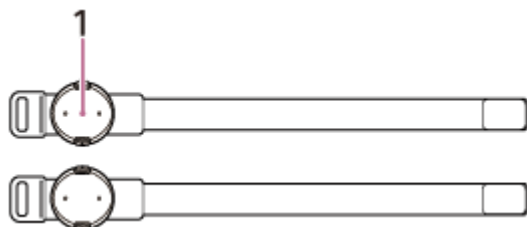
短いバンドが手首用です。



1. アタッチメント

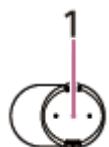
アングルバンド（足首用／2本）

長いバンドが足首用です。



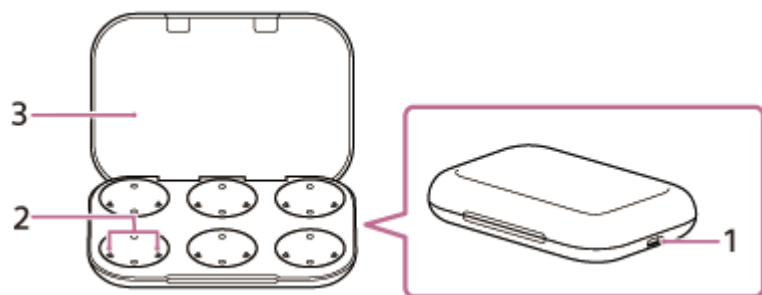
1. アタッチメント

クリップ（腰用）



1. アタッチメント

充電ケース



1. USB Type-C™端子

別売のUSB Type-CケーブルとACアダプターを使って電源コンセントにつないで、センサーを充電します。

2. 充電ピン

3. ふた

関連項目

- [充電する](#)
- [センサーをペアリングする](#)
- [センサーを取り付ける](#)
- [センサーを取り外す](#)

TP1000940135

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

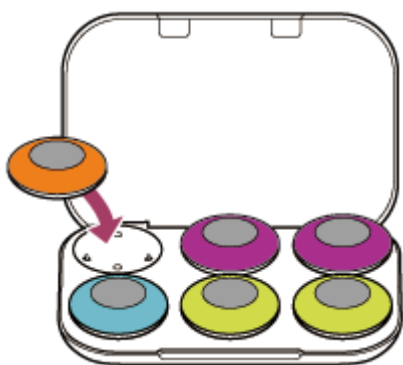
充電する

センサーは充電式リチウムイオン電池を内蔵しています。充電には必ず、下記のソニー製ACアダプター（別売り）を使用してください。他の充電器を使うと、充電時間が長い、充電できない、または故障などの原因になります。

- 急速充電対応アダプター XQZ-UC1

1 センサーを充電ケースにセットする。

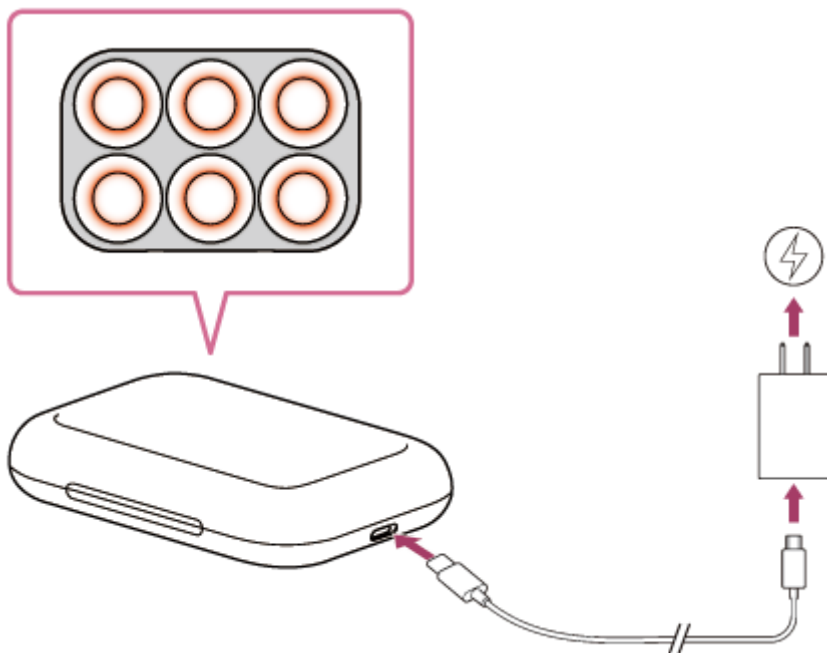
各センサーを充電ケースのくぼみにセットします。充電ケースに内蔵された磁石により、センサーは充電ケースの正しい位置に収まります。



充電ケースのふたを閉めてください。

2 充電ケースを電源コンセントにつなぐ。

別売のUSB Type-CケーブルとACアダプターを使用します。



センサーのランプがオレンジ色にゆっくりと点滅し、充電が開始します。
電池残量が約80%以上まで充電されると、センサーのランプが緑色に点灯します。
USB Type-Cケーブルを外してください。

ご注意

- 充電前は、センサーや充電ケースの水分を十分に拭き取ってから、充電ケースにセットしてください。
- センサーをセットするときは、センサーおよび充電ケースのくぼみに、ゴミや異物が付着していないことを確認してください。
- センサーが充電ケースに正しくセットされていない場合、充電が開始されなかったり、ふたが閉まらなかったりする場合があります。センサーが回転しないことを確認し、すべてのセンサーが正しくセットされた状態で充電を行い、すべてのセンサーのランプが点灯することを確認してください。
- 各種機能の設定や使用条件により、各センサー間で充電式電池の消費の速さが異なる場合があります。そのため、各センサーの充電式電池の充電時間が異なる場合がありますが、異常ではありません。
- 長期にわたって保存する場合は、過放電防止のため、半年に1回程度の充電を行ってください。
- 長い間使わなかったときは、充電時間が長くなる場合があります。
- センサーの充電式電池に問題がある場合、充電中に異常を検知するとセンサーのランプが赤色で点滅します。周囲の温度が15℃～35℃の範囲で充電することをおすすめします。この範囲を超えると、効率のよい充電ができないことがあります。それでも問題が解決しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。
- センサーを長期間お使いにならなかった後に充電を行った場合、センサーのランプがすぐに点灯しない場合があります。ランプが点灯するまでしばらくお待ちください。
- 急激な温度変化や、直射日光、霧、砂、ほこりや電気的な衝撃を避けてください。また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。
- 充電中や充電後しばらくは、センサーおよび充電ケースが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。

関連項目

- [各部の名前](#)

TP1000940120

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

mocopiアプリをインストールする

モバイルモーションキャプチャーのすべての操作は、スマートフォンにインストールしたmocopiアプリで行います。お手持ちのスマートフォンに、必ずmocopiアプリをインストールしてください。

1 Google PlayストアまたはApp Storeでmocopiアプリをダウンロードしてスマートフォンにインストールする。

mocopiアプリはモバイルモーションキャプチャーを使用するための、スマートフォン用アプリです。お使いのスマートフォン用のアプリをダウンロードしてご利用ください。

Google Playストアでダウンロードする : <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.sony.mocopi>
App Storeでダウンロードする : <https://apps.apple.com/jp/app/id6444393701?mt=8>

ヒント

- センサーのソフトウェアアップデートは、mocopiアプリを使って行います。

TP1000940121

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

センサーをペアリングする

本機を初めて使用する場合は、各センサーとmocopiアプリをそれぞれペアリング設定します。

- 1 スマートフォンのmocopiアプリをタップして起動する。
- 2 初期画面の【セットアップからはじめる】をタップする。
画面の案内に従って、設定を進めてください。
- 3 【センサーのペアリング】画面で【次へ】をタップする。
画面の案内に従って、設定してください。
【ペア設定リクエスト】画面が表示されたときは、【ペアに設定して接続】>【ペア設定する】をタップしてください。
ペアリングが完了したら、【センサーの接続】画面が表示されます。


ヒント

- 【ペア設定リクエスト】画面の表示が消えてしまったときは、画面を上から下にスワイプすると、メッセージを表示することができます。

ご注意

- センサーをペアリングする前に、スマートフォンのBluetooth機能がオンになっていることを確認してください。
- センサーのペアリングができないときは、下記を確認してください。
 - センサーの電源が切れているときは、電源を入れてください。
 - スマートフォンにほかのBluetooth機器が接続されているときは、接続を解除してください。
 - センサーがほかのスマートフォンに接続されているときは、接続を解除してください。
 - センサーの電源をオフにし、10秒ほど待ってから再び電源を入れてください。
 - センサーをスマートフォンとペアリングしたことがあるときは、スマートフォンのBluetoothの機器情報でセンサーを削除してください。
 - スマートフォンを再起動してください。
 - センサーの初期化をしてください。センサーを初期化するには、電源ボタンを10回押します。ランプが赤色と青色に交互に点滅すると初期化が完了します。初期化すると、センサーに登録されていたBluetoothの機器情報が削除されます。
- センサーの電源が入らないときは、下記を確認してください。
 - 電池残量が少ない可能性があります。センサーを充電してください。
 - センサーが充電されているのに電源が入らないときは、センサーのボタンを5秒間長押しして、再起動してください。

センサーのペアリングを解除するには

1. 【センサーの確認】画面で、該当するセンサーの  (メニューアイコン) をタップする。
2. 【ペアリング解除】をタップする。

関連項目

- [センサーを接続する](#)

- センサーを取り付ける
- センサーを取り外す
- センサーを体に装着する
- キャリブレーションする
- 充電する
- 各部の名前

TP1000940122

H-242-100-03(1) Copyright 2023 Sony Corporation

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

センサーを接続する

モーションキャプチャーするときは、mocopiアプリでセンサーの接続から始めます。

1 mocopiアプリを起動して、**【モーションキャプチャーをはじめる】**をタップする。

2 各センサーのボタンを押して電源を入れ、平らな台の上に並べる。

各センサーのランプが青色に点滅します。

ランプが点滅しない場合や、オレンジ色に点滅する場合は、センサーを充電してから接続してください。

3 **【センサーの接続】**画面で**【確認】**をタップする。

4 **【センサーの確認】**画面で**【センサーに接続】**をタップする。

各センサーの接続が開始します。

接続が完了すると、センサーのランプが緑色に点滅します。

5 **【センサーの起動】**画面で**【確認】**をタップする。

【各センサーの固定】画面が表示されます。

ご注意

- センサーを接続する前に、スマートフォンのBluetooth機能がオンになっていることを確認してください。
- センサーの接続を開始したら、画面の表示を確認して、すべてのセンサーの接続が完了するまで、センサーを動かさないでください。
- センサーを接続するときは、近くに振動する機器（ノートPCなど）を置かないでください。
- **【センサーが見つかりません】**と表示されたときは、下記を確認してください。
 - センサーの電源が切れているときは、電源を入れてください。
 - スマートフォンにほかのBluetooth機器が接続されているときは、接続を解除してください。
 - センサーがほかのスマートフォンに接続されているときは、接続を解除してください。
 - センサーの電源をオフにし、10秒ほど待ってから再び電源をオンにしてください。
 - スマートフォンのBluetoothの機器情報でセンサーを削除して、再度ペアリングしてください。
 - スマートフォンを再起動してください。
 - センサーの初期化をしてください。センサーを初期化するには、電源ボタンを10回押します。ランプが赤色と青色に交互に点滅すると初期化が完了します。初期化すると、センサーに登録されていたBluetoothの機器情報が削除されます。センサーを再度ペアリングしてください。
- センサーの電源が入らないときは、下記を確認してください。
 - 電池残量が少ない可能性があります。センサーを充電してください。
 - センサーが充電されているのに電源が入らないときは、センサーのボタンを5秒間長押しして、再起動してください。
- センサーを接続して、ファームウェアのアップデートが始まったときは、そのままお待ちください。センサーを充電ケースに入れて充電すると、Bluetoothが切断され、ファームウェアのアップデートができません。

関連項目

- センサーをペアリングする
- センサーを取り付ける
- センサーを体に装着する
- キャリブレーションする
- モーションキャプチャー画面の各部の名称
- 充電する
- 各部の名前

TP1000953036

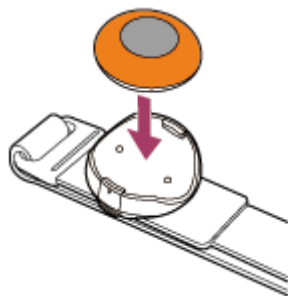
H-242-100-03(1) Copyright 2023 Sony Corporation

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

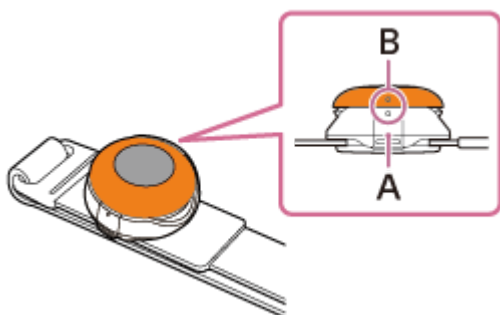
センサーを取り付ける

① [各センサーの固定] 画面で [バンドや装着台座の種別] に従い、バンドの種類を確認する。

② センサーをアタッチメントにセットする。



センサーをアタッチメントに近づけると、アタッチメントに内蔵された磁石により、センサーはアタッチメントの正しい位置に収まり側面のツメ (A) でロックされます。センサーとアタッチメントの正しい装着状態は、側面の目印がそろっていることで確認できます (B)。



③ センサーのアタッチメントへの取り付けと固定が完了したら、[各センサーの固定] 画面で [次へ] をタップする。

[センサーの体への装着] 画面が表示されます。

ヒント

- すべてのセンサーは、同じ手順で取り付けることができます。

ご注意

- センサーをセットするときには、センサーとアタッチメントにゴミや異物が付着していないことを確認してください。
- センサーを取り付けたら、センサーが回転しないこと、アタッチメントのツメが閉じていることを確認してください。適切に固定されていない場合、モーションキャプチャー中にセンサーが脱落し、センサーまたは周囲に危害を及ぼす可能性があります。

- センサーを体に装着する
- センサーを取り外す
- 各部の名前

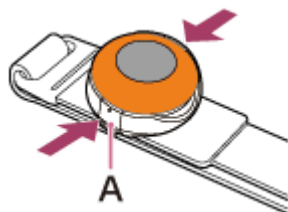
TP1000940134

H-242-100-03(1) Copyright 2023 Sony Corporation

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

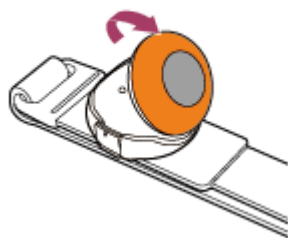
センサーを取り外す

- 1 アタッチメントの両脇にあるツメを押して広げる。



A : ツメ

- 2 ツメを押し広げたまま、センサーをアタッチメントからゆっくりと取り外す。



ヒント

- センサーをゆっくりと傾けることにより、小さな力で取り外すことができます。
- すべてのセンサーは、同じ手順で取り外すことができます。

ご注意

- センサーが落下しないように注意しながら、センサーをアタッチメントからゆっくりと取り外してください。
- センサーを取り外すときは、バンドおよびクリップを体から外してからセンサーの取り外しを行ってください。

関連項目

- [センサーを取り付ける](#)
- [各部の名前](#)

TP1000940150

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

センサーを体に装着する

- 1 【センサーの体への装着】画面に従い、センサーを装着する。
- 2 センサーの装着が完了したら、【確認】をタップする。
【キャリブレーション】画面が表示されます。

ご注意

- バンドは緩まないようにしっかりと締めてください。
- リストバンド（手首用）は、素肌の上から装着してください。衣服の上からバンドを装着することは避けてください。
- アンクルバンド（足首用）は、素肌、または靴下の上から装着してください。衣服の上からバンドを装着することは避けてください。
- クリップ（腰用）は、ズボンやベルトの上側からクリップを奥まで差し込み、しっかりと固定された状態になっていることを確認してください。シャツなど上着に装着した場合、激しい動きでクリップが外れて落下する原因となります。
- センサーの装着中に、誤ってセンサーを落下させてしまった場合、モーションが正しく認識できなくなる場合があります。センサーの接続後に落下させるなどセンサーに対して衝撃を与えてしまった場合は、センサーの接続からやり直してください。

関連項目

- [キャリブレーションする](#)
- [各部の名前](#)

TP1000953041

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

キャリブレーションする

モーションキャプチャーを正しく行うために、装着されたセンサーの向きをアプリで検出することを、キャリブレーションといいます。同じユーザーでも、センサーを装着し直すとセンサーの位置が変わるので、モーションキャプチャーを始める前に毎回キャリブレーションを行います。

① **【キャリブレーション】画面で身長を選択し、【次へ】をタップする。**

② **【キャリブレーション開始】をタップして、基本姿勢をとる。**

ヒント

- 基本姿勢では、背筋を伸ばして足を肩幅に開き、両腕を軽く体に沿わせてまっすぐ立って静止してください。

③ **スマートフォンの音と振動の合図に合わせて一歩前に出て、再び基本姿勢をとる。**

【キャリブレーション成功】と表示され、モーションキャプチャー画面が表示されます。

ご注意

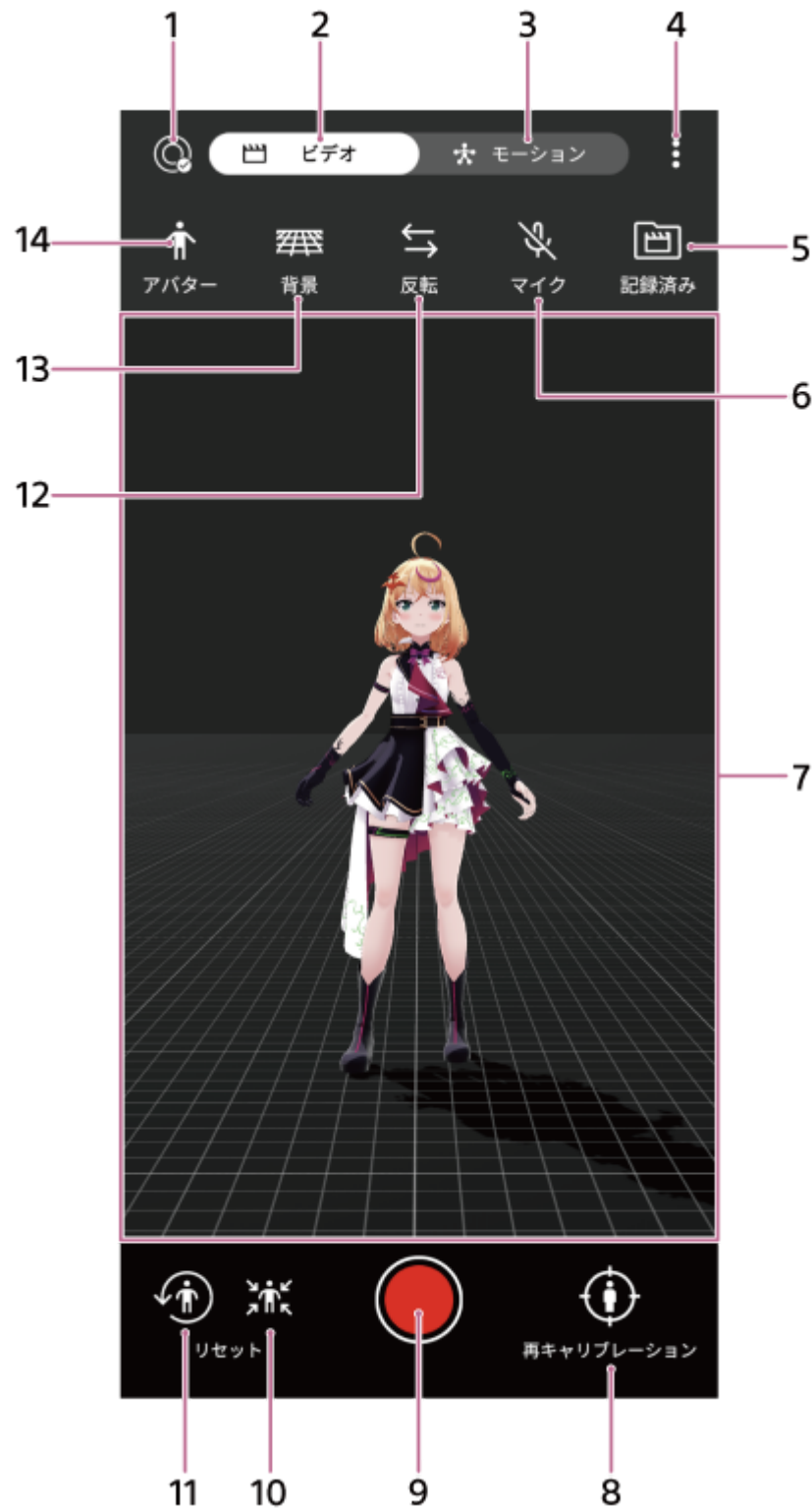
- 基本姿勢中はスマートフォンを持たずに、体を動かさずに静止してください。
- キャリブレーション中にスマートフォンの画面をのぞき込んだりすると、頭のセンサーの位置がずれて、正しくキャリブレーションができません。キャリブレーションを開始したら、音と振動に合わせて一歩前に出て、基本姿勢をとって静止してください。
- キャリブレーションに失敗するときは、基本姿勢から一歩前に入る動作が間違っている可能性があります。【キャリブレーション】画面中央の【もう一度見る】をタップして、動作を確認してください。
❗ (メニューアイコン) > [チュートリアル] でも、キャリブレーションの動作を動画で確認できます。
- 正しい動作をしてもキャリブレーションに失敗するときは、センサーの接続をやり直す必要があります。体からセンサーを外し、アタッチメントからセンサーを取り外して、平らな台の上に並べて接続してください。
❗ (メニューアイコン) > [スタートメニューに戻る] をタップします。

関連項目

- [モーションキャプチャー画面の各部の名称](#)
- [ポーズリセット](#)
- [再キャリブレーション](#)

TP1000940125

モーションキャプチャー画面の各部の名称



1. センサーの確認
各センサーの接続状況や充電量を確認することができます。
2. ビデオ
アバターの動きをビデオとして記録します。

3. モーション

キャプチャーしたモーションをBVHファイルでスマートフォンのローカルストレージに保存したり、外部機器などに送信したりすることができます。

4. メニューアイコン

メニューを表示します。

〔カメラを固定〕：オンにすると、画面上でカメラの位置を操作して任意の位置で固定することができます。オフにすると、アバターの位置にカメラが自動追従し、アバターが常に画面中央に表示されます。

〔腰の位置を固定〕：オンにすると、座って撮影するときなどに腰の位置が固定され、アバターの動きが安定します。椅子に座った後など、腰の位置が動かない状態になってから、設定をオンにしてください。

〔設定〕：〔設定〕画面を表示します。

- 〔単位切り替え〕：メートルまたはインチを選択します。

- 〔ポーズリセットの音声設定〕：オンまたはオフを選択します。

- 〔PC接続設定〕：記録したデータを外部機器に送信するときに、IPアドレスや送信ポート番号、送信フォーマットを設定します。

- 〔警告通知設定〕：警告通知設定をオンまたはオフに選択します。

〔チュートリアル〕：チュートリアル動画を起動します。

〔スタートメニューに戻る〕：スタートメニューに戻ります。

〔このアプリについて〕：アプリの情報について表示します。

5. 記録済み

記録済みのデータを確認します。ビデオモードとモーションモードによって、アイコンが変更します。

6. マイク（ビデオモード時）

マイクのオン/オフを切り替えます。マイクをオンにするとアバターのリップシンクが有効になります。Bluetoothヘッドセットには対応していません。

保存/送信（モーションモード時）

〔保存〕を選択するとデータをスマートフォンのローカルストレージに保存します。〔送信〕を選択すると、データを外部機器に送信します。

7. モーションキャプチャー画面

画面上でピンチインまたはピンチアウトすると、アバターのサイズを変更することができます。

8. 再キャリブレーション

ユーザーを変更するときや、装着したセンサーがずれたときは、再度キャリブレーションを行います。

9. 記録ボタン（赤/緑）

モーションキャプチャーの記録開始や停止をします。選択されたモードによって、ボタンの色やボタン内のアイコンが変更します。

10. リセットポジション

アバターの位置を、元の開始位置に戻します。

11. ポーズリセット

アバターの動きと実際の動きにずれが生じてきたら、ポーズをリセットして調整します。

12. 反転

アバターの向きを反転させます。

13. 背景

画面の背景を変更します。スマートフォンのカメラのプレビュー画像を、AR背景として使用することもできます。

14. アバター

使用するアバターを選択します。

関連項目

- [充電する](#)
- [センサーを接続する](#)
- [ビデオモードで記録する](#)
- [モーションモードで記録する](#)
- [外部機器の設定をする](#)
- [モーションデータを外部機器に送信する](#)
- [再キャリブレーション](#)
- [ポーズリセット](#)
- [背景を変更する](#)

- [アバターを変更する](#)

TP1000940151

H-242-100-03(1) Copyright 2023 Sony Corporation

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

ビデオモードで記録する

ビデオモードでは、アバターを動かしてMP4で記録することができます。

- 1 モーションキャプチャー画面の【ビデオ】をタップする。
- 2 記録ボタン（赤）をタップして、モーションキャプチャーを開始する。
カウントダウンが始まり、記録が開始します。
- 3 記録ボタン（赤）をタップして、モーションキャプチャーを停止する。
スマートフォンに動画データとして保存されます。

ヒント



- 記録されたデータは、スマートフォンの動画再生アプリなどで再生できます。または、モーションキャプチャー画面の【記録済み】から再生することもできます。
- モーションキャプチャー画面の【アバター】からお好みのアバターを選択することができます。

ご注意

- カスタムアバターを利用しているときは、アバターによってモーションキャプチャーのパフォーマンスが低下する場合があります。【パフォーマンスが低下しています。高負荷なアバターが選択されている可能性があります。】とメッセージが表示されたら、アバターの軽量化をおすすめします。

画面の記録ボタンについて

撮影状況に応じて、画面の記録ボタンは次のように変わります。

- （記録開始ボタン）
- （記録停止ボタン）

関連項目

- [モーションキャプチャー画面の各部の名称](#)
- [アバターを変更する](#)
- [外部機器からカスタムアバターを取り込む](#)
- [背景を変更する](#)
- [ポーズリセット](#)
- [再キャリブレーション](#)

TP1000940127

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

アバターを変更する

モーションキャプチャー画面で使用するアバターを変更することができます。プリインストールのアバターや、スマートフォンに保存されたカスタムアバター（VRMファイル）を選べます。

1 モーションキャプチャー画面の【アバター】をタップする。

【アバター選択】画面が表示されます。
Androidで初めて【アバター】をタップすると、Documentsフォルダ画面が表示されます。【このフォルダを使用】をタップしてください。カスタムアバターの保存先が、Documentsフォルダに設定されます。

2 アバターを選択する。

プリインストールのアバター、またはVRMファイルのカスタムアバターを選択することができます。VRMファイルのカスタムアバターを選択するには、【ファイルから開く】をタップし、その後、カスタムアバターが保存されているフォルダを開いて、VRMファイルを選びます。

ヒント

- 外部機器からカスタムアバターを取り込むこともできます。詳しくは、関連項目の「外部機器からカスタムアバターを取り込む」をご覧ください。

関連項目

- [モーションキャプチャー画面の各部の名称](#)
- [外部機器からカスタムアバターを取り込む](#)
- [ビデオモードで記録する](#)

TP1000940128

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

外部機器からカスタムアバターを取り込む

カスタムアバター（VRMファイル）を外部機器からスマートフォンに取り込むことができます。

ヒント

- 外部機器からスマートフォンに取り込んだカスタムアバターは、関連項目の「アバターを変更する」の手順でアバターとして選択できます。

WindowsからAndroidにカスタムアバターを取り込む

1. 外部機器（Windows）とスマートフォンをUSBケーブルで接続する。
2. Windows上のエクスプローラーで、スマートフォンのDocumentsフォルダにVRMファイルをコピーする。

ご注意

- モーションキャプチャー画面の「アバター」を初めてタップしたとき、Documentsフォルダ以外のフォルダを選択した場合は、選択したフォルダにVRMファイルをコピーしてください。

macOSからAndroidにカスタムアバターを取り込む

1. 外部機器（macOS）とスマートフォンをUSBケーブルで接続する。
2. Android File Transferで、スマートフォンのDocumentsフォルダにVRMファイルをコピーする。

ご注意

- 事前にAndroid File Transferが外部機器（macOS）にインストールされている必要があります。
- モーションキャプチャー画面の「アバター」を初めてタップしたとき、Documentsフォルダ以外のフォルダを選択した場合は、選択したフォルダにVRMファイルをコピーしてください。

macOSからiPhoneにカスタムアバターを取り込む

1. 外部機器（macOS）とスマートフォンをUSBケーブルで接続する。
2. FinderでiPhoneを選択する。
3. Finderで「ファイル」を選択する。
4. mocopiフォルダの直下にVRMファイルをコピーする。

WindowsからiPhoneにカスタムアバターを取り込む

1. 外部機器（Windows）とスマートフォンをUSBケーブルで接続する。
2. iTunesアプリ上でiPhoneを選択し、「ファイル共有」を選択する。
3. mocopiアプリを選択する。
4. VRMファイルをドラッグ・アンド・ドロップしてコピーする。

ご注意

- 事前にiTunesアプリが外部機器（Windows）にインストールされている必要があります。

関連項目

- [アバターを変更する](#)

TP1000953048

H-242-100-03(1) Copyright 2023 Sony Corporation

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

背景を変更する

モーションキャプチャー画面で使用する背景を変更することができます。

1 モーションキャプチャー画面の【背景】をタップする。

[背景変更] 画面が表示されます。

2 背景を選択する。

画面の背景が変更されます。

関連項目

- [モーションキャプチャー画面の各部の名称](#)

TP1000940129

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

モーションモードで記録する

モーションモードでは、モーションデータをBVHファイルで記録することができます。



- 1 モーションキャプチャー画面の **【モーション】** をタップする。
- 2 **【保存/送信】** をタップして、**【保存】** を選択する。
記録ボタン（赤）内にモーションモードのアイコンが表示されます。
- 3 **記録ボタン（赤）** をタップして、**モーションキャプチャーを開始する**。
カウントダウンが始まり、記録が開始します。
- 4 **記録ボタン（赤）** をタップして、**モーションキャプチャーを停止する**。
スマートフォンのローカルストレージにデータ（BVHファイル）が保存されます。

ヒント

- データ（BVHファイル）は、スマートフォンの下記の場所に保存されます。
iPhone：mocopifolderのMotionData配下
Android：ユーザーが初回保存時に指定したフォルダ配下
- 記録されたデータ（BVHファイル）は、モーションキャプチャー画面の **【記録済み】** から再生することもできます。
- モーションモードで記録したデータを外部機器に送信する手順については、「**モーションデータを外部機器に送信する**」をご覧ください。

画面の記録ボタンについて

撮影状況に応じて、画面の記録ボタンは次のように変わります。

-  （記録開始ボタン）
-  （記録停止ボタン）

関連項目

- [モーションキャプチャー画面の各部の名称](#)
- [外部機器の設定をする](#)
- [モーションデータを外部機器に送信する](#)

TP1000940152

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

外部機器の設定をする

データを受信する外部機器の、IPアドレス、送信ポート番号および送信フォーマットを設定します。

- 1 モーションキャプチャー画面のメニューアイコンをタップする。**
メニューが表示されます。
- 2 [設定] をタップする。**
[設定] 画面が表示されます。
- 3 [PC接続設定] をタップする。**
[PC接続設定] 画面が表示されます。
- 4 データ受信する外部機器の [IPアドレス]、[送信ポート設定] を設定し、[送信フォーマット] を選択する。**
- 5 [OK] をタップする。**
mocopiアプリから外部機器へデータ送信が可能になります。

ヒント

- VRChatにモーションデータを送信する場合は、[VRChat(OSC)] を選択します。VRChatのデフォルトのポート番号は9000です。

ご注意

- モーションデータの送信機能は、ローカルネットワークでのご利用を前提としておりデータの暗号化は行っておりません。インターネット経由でのデータ送信を行った場合、通信内容が傍受され、データが漏洩する可能性があります。

関連項目

- [モーションキャプチャー画面の各部の名称](#)
- [モーションデータを外部機器に送信する](#)
- [モーションモードで記録する](#)

TP1000940131

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

モーションデータを外部機器に送信する

mocopiアプリからモーションデータを外部機器に送信します。



- 1 スマートフォンと外部機器を接続する。
- 2 モーションキャプチャー画面の [モーション] をタップする。
- 3 [保存/送信] をタップして、[送信] を選択する。
記録ボタン（緑）内に外部機器送信用のアイコンが表示されます。
- 4 記録ボタン（緑）をタップし、モーションキャプチャーを開始する。
カウントダウンが始まり、モーションデータの送信が開始されます。
- 5 記録ボタン（緑）をタップし、モーションキャプチャーを停止する。
モーションデータの送信が停止します。

ご注意

- 外部機器と通信ができない場合は、下記の点をご確認ください。
 - [PC接続設定] 画面で設定したIPアドレス、送信ポート番号、送信フォーマットが正しいこと
 - 外部機器上でファイアウォールなどにより、指定したポート番号（UDP）でのデータ受信が拒否されていないこと

画面の記録ボタンについて

撮影状況に応じて、画面の記録ボタンは次のように変わります。

-  (記録開始ボタン)
-  (記録停止ボタン)

関連項目

- [モーションキャプチャー画面の各部の名称](#)
- [外部機器の設定をする](#)
- [モーションモードで記録する](#)

TP1000940132

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

ポーズリセット

モーションキャプチャーを記録している間に、実際の動きとアバターの動きにずれが生じる場合は、ポーズをリセットして調整することができます。

1 モーションキャプチャー画面の [リセット] 上部の「ポーズリセット」アイコンをタップする。

画面の案内に従って、ポーズをリセットしてください。

ヒント

- ポーズをリセットしてもアバターの動きにずれを感じる時は、再キャリブレーションしてください。

関連項目

- [モーションキャプチャー画面の各部の名称](#)
- [再キャリブレーション](#)

TP1000940130

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

再キャリブレーション

モーションキャプチャー中にセンサーを装着し直したときや、ユーザーを変更するときは、再キャリブレーションしてください。

1 モーションキャプチャー画面で **【再キャリブレーション】** をタップする。

[モーションキャプチャーが終了します。] と表示されます。

2 **【終了して実行】** をタップする。

3 **【キャリブレーション開始】** をタップして、**基本姿勢**をとる。

ヒント

- 基本姿勢では、背筋を伸ばして足を肩幅に開き、両腕を軽く体に沿わせてまっすぐ立って静止してください。

4 スマートフォンの音と振動の合図に合わせて一歩前を出て、**再び基本姿勢**をとる。

[キャリブレーション成功] と表示され、モーションキャプチャー画面が表示されます。

ヒント

- 長時間モーションキャプチャーを続けて、アバターの動きにずれを感じたときは、「ポーズリセット」を行ってください。

ご注意

- 基本姿勢中はスマートフォンを持たずに、体を動かさずに静止してください。
- キャリブレーション中にスマートフォンの画面をのぞき込んだりすると、頭のセンサーの位置がずれて、正しくキャリブレーションができません。キャリブレーションを開始したら、音と振動に合わせて一歩前を出て、基本姿勢をとって静止してください。
- キャリブレーションに失敗するときは、基本姿勢から一歩前に出る動作が間違っている可能性があります。[キャリブレーション] 画面中央の [もう一度見る] をタップして、動作を確認してください。
❗ (メニューアイコン) > [チュートリアル] でも、キャリブレーションの動作を動画で確認できます。
- 正しい動作をしてもキャリブレーションに失敗するときは、センサーの接続をやり直す必要があります。体からセンサーを外し、アタッチメントからセンサーを取り外して、平らな台の上に並べて接続してください。
❗ (メニューアイコン) > [スタートメニューに戻る] をタップします。

関連項目

- [モーションキャプチャー画面の各部の名称](#)
- [ポーズリセット](#)

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

使用上のご注意

モーションキャプチャーに関するご注意

- 本機のモーションキャプチャー機能は、AIによる推定技術を使用しています。使用状況や利用者の体格によっては、推定精度が変化することがあります。
- モーションキャプチャーを行うときは、人や物にぶつからないように広い場所で行い、充分ご注意ください。体を傷めないように注意し、異変を感じたら使用を中止してください。けがや事故、故障の原因となります。
- 本機がモーションを正しく認識できる身長は140cm～190cmです。
- 本機と接続するスマートフォンとの通信環境や、周囲の状況によっては、モーションキャプチャーが正しく動作しないことがあります。

装着に関するご注意

- クリップで指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。

その他のご注意

- 虫よけスプレーや日焼け止め、ボディクリームなどの薬品が付着しないようにしてください。変形・変色のおそれがあります。付着してしまった場合は、拭き取るようにしてください。
- 充電ケースに水をかけないでください。充電ケースは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- センサー、クリップ、バンドのアタッチメントおよび充電ケースを高温の場所に放置したり、高温の物体に近づけないでください。
- 次のような場所では、充電または使用しないでください。
 - 極端な高温、低温、多湿の場所
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 高温や低温の場所では、電池の保護のために充電が止まったり、充電に時間がかかったりすることがあります。高温や低温の場所を避けて充電することで、正常な充電に戻ります。

お手入れのしかた

- 外装の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。洗剤などで拭くと、色があせたりすることがあります。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためたり、破損につながるため使わないでください。詳しくは、「お手入れ」の項目をご覧ください。

センサー、クリップ、バンドのアタッチメントおよび充電ケースを医療機器の近くで使わない

- 電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。
- センサー、クリップ、バンドのアタッチメントおよび充電ケースは磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与えるおそれがあります。センサーをこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、センサーのご使用前に担当医師にご相談ください。

センサー、クリップ、バンドのアタッチメントおよび充電ケースを磁気カードに近づけない

- センサー、クリップ、バンドのアタッチメントおよび充電ケースは磁石を使用しています。磁気を利用したカード類を近づけると、カードの磁気に変化して使えなくなることがあります。

関連項目

- [お手入れ](#)

TP1000944711

H-242-100-03(1) Copyright 2023 Sony Corporation

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

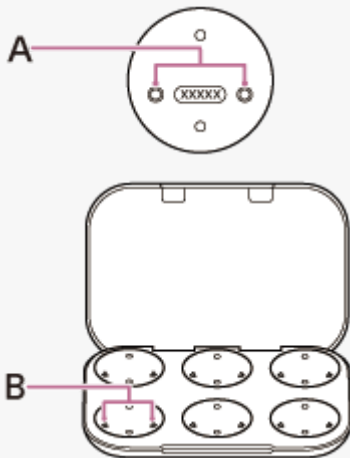
使い終わったら

センサーを使い終わったら、必ず充電ケースにセットしてください。
充電ケースのふたを閉めてください。



ご注意

- センサーの充電端子に汗や水が付着したままにしておくと、充電ができなくなる原因となります。ご使用後は、すみやかに汗や水を拭き取ってください。また、センサーの充電端子や充電ケースの充電ピンが汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。



A : センサーの充電端子
B : 充電ケースの充電ピン

- バンドに汗や汚れが付着しているときは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

センサーに水がかかった場合は

センサーに付着した水滴は、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。

モバイルモーションキャプチャー
QM-SS1

お手入れ

以下の手順に従って定期的にお手入れを行ってください。

1 外装をお手入れする。

センサー、クリップ、バンドのアタッチメントおよび充電ケースの外装の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。洗剤などで拭くと、色があせたりすることがあります。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためるので使わないでください。

センサーに付着した水滴は、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。

寒冷地などでは、水滴が付着したまま放置すると凍結するおそれがあります。

2 充電端子および充電ピンをお手入れする。

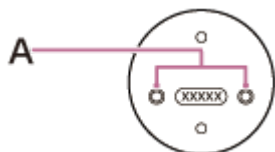
センサーの充電端子や充電ケースの充電ピンに異物や汗などの水分が付着したままにしておくと、端子腐食の原因となり、充電ができなくなることがあります。

使い終わった後には、必ず乾いた柔らかい布や綿棒で充電端子および充電ピン部分を優しく清掃してください。

充電ができなくなったときも、充電端子および充電ピンを丁寧に清掃することで改善できる場合がありますのでお試しください。

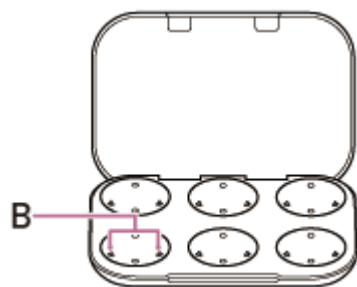
お手入れが必要な充電端子および充電ピン

- センサー



A: センサーの充電端子

- 充電ケース



B: 充電ケースの充電ピン

3 よく乾かす。

掃除が完了したら、常温で放置してしっかり乾燥させてください。

4 充電ケースにセットする。

センサーのお手入れ・清掃が終わり、乾燥させたら、充電ケースに入れて保管してください。

ご注意

- バンドは、洗濯機で洗わないでください。破損の原因となることがあります。

TP1000944712

H-242-100-03(1) Copyright 2023 Sony Corporation

センサーや充電ケースが水に濡れたり汚れたりした場合は

センサーの防水・防塵性能について

- センサーは、IPX5/IPX8相当の防水仕様および、IP6X相当の防塵仕様となっています。水中での使用はできません。使いかたによっては内部に水が入り、火災や感電、故障の原因となるおそれがあります。以下の点を充分にご理解、ご確認のうえ、ご使用ください。
IPX5とは：あらゆる方向からのノズルによる噴流水に対して、センサー機能を保護するものです。
IPX8とは：関係者間で取り決めた厳しい条件下で外郭を継続的に水中に沈めたとき、センサー機能を保護するものです。
IP6Xとは：防塵試験用粉塵（直径75μm以下）がセンサー内部に入らないように保護されているものです。

センサーの防水性能の対象となる液体

対象：	真水、水道水
非対象：	上記以外の液体（例：石けん水、洗剤や入浴剤の入った水、シャンプー、温泉水、お湯、プールの水、海水など）

性能については、上記条件による当社測定に基づいたものです。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

センサーと充電ケースを故障から守るために

下記の点をご確認のうえ、正しくご使用ください。

- 充電ケースは、防水・防塵に対応しておりません。
- 寒冷地などでは、凍結するおそれがあります。使用後は必ず水滴を拭き取るようにしてください。
- センサーを水の中に入れたり、風呂場など、湿度の高いところで使用しないでください。
- センサーを落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。変形や破損により、性能劣化の原因となることがあります。
- センサーに付着した水滴は、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- センサーや充電ケースが汗などで濡れたまま充電すると、充電端子や充電ピンが腐食します。充電する前に乾いた柔らかい布で水分を完全に拭き取り、常温で放置して乾燥させてから充電してください。
お手入れをしないで故障した場合の修理は無償保証の対象外となります。
- センサーの充電端子や充電ケースの充電ピンが汚れたときは、乾いた柔らかい布で清掃してください。
- スポンやシャツの胸ポケットに入れたまま洗濯をしないでください。
- ひび割れや変形が見られるときは、水のかかる場所でのご使用を控えていただくか、ソニーの修理相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

商標について

- iPhone、iPod touch、macOS、MacおよびSiriは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- App Storeは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.のサービスマークです。
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Google、AndroidおよびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- USB Type-C™およびUSB-C™は、USB Implementers Forumの商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

TP1000944718

第三者が提供するサービス・アプリ

ヘルプガイドでは、第三者が提供するサービスやアプリについて言及する場合があります。第三者が提供するサービスやアプリを使用するには、提供元への登録やライセンス契約が別途必要になる場合があります。第三者のWebサイトでアクセスしたアプリについては、当該Webサイトの利用規約と適用されるプライバシーポリシーを予めご確認ください。当社は、第三者のWebサイトやサービス、アプリの利用可能性またはパフォーマンスについて保証はいたしません。

TP1000944719

モバイルモーションキャプチャー

QM-SS1

サポートホームページで調べる

<https://www.sony.jp/support/mocopi/>

サポート情報、よくあるお問い合わせ（困ったときは）とその回答をご案内しています。

TP1000944720

H-242-100-03(1) Copyright 2023 Sony Corporation

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

このヘルプガイドとサポートサイトをご覧になってお調べください。

<https://www.sony.jp/support/>

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低3年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーの相談窓口にご相談ください。

TP1000944721